

自覚症状がないから怖い

# だから がん検診 を受けましょう！

日本人の2人に1人が“がん”になると言われ、死亡原因トップは多久市でも同じです。

がんが怖いのは、ほとんど自覚症状がないまま進行してしまうこと。だからこそ早期発見のカギとなる“がん検診”が大事なのです。早期発見・早期治療のために、積極的に毎年“がん検診”を受けましょう。

多久市の死因トップは“がん”だから“がん検診”を

厚生労働省の調べによると“がん”は、日本人の2人に1人がなり、3人に1人が尊い命を落とされ続けている死亡原因ナンバーワンの怖い病気です。多久市でも、下の表のようにがんで亡くなる方が4割以上もおられ、心臓病・脳血管疾患と続きますが、これらは、食事・運動・喫煙など毎日の生活習慣が主な原因となる『生活習慣病』と呼ばれ、進行するまで自覚症状がほとんどありません。

多久市民の死亡の原因 (平成19年)

順位	原因病名	死亡者数	割合
1	がん	68人	25.7%
2	心疾患	36人	13.6%
3	脳血管疾患	32人	12.1%
4	肺炎	27人	10.2%
5	不慮の事故	13人	4.9%
6	自殺	11人	4.2%
7	腎不全	10人	3.8%
8	肝疾患	6人	2.3%
9	糖尿病	5人	1.9%
	その他	57人	21.3%
	合計	265人	100%

出典：保健統計年報

がんの予防は、がんにならない食生活や生活習慣ですが、どんなに気をつけていても完全に防ぐことはできません。初期のがんはほとんどの場合、自覚症状がないので、本人が知らないままに進行してしまいます。心掛けることは、たとえがんになつていたとしても、早期に見つけ、治療すること。医学の進歩により、がんは、不治の病ではなく、早期発見・早期治療によって治癒率は高くなっています。検診結果で「精密検査が必要」と判断された場合でも、怖がらずに『精密検査』を受けましょう。

自覚症状がないからこそ、“がん検診”で早期発見

“がん検診”は、多久市に住所がある40歳以上（一部20歳以上）の市民を対象に行っています！



「希望調査票」を20歳以上の方がいる世帯に配布しました。

